

# センター会報 シルバー庄内

題字：原田 正一

第18号

令和7年  
7月1日発行

一般社団法人  
庄内町シルバー人材センター



SCセンター前の八幡公園と園児たち



脇目も振らずに ボランティア活動



作業は安全第一！安全パトロール



チョット一服。一日研修旅行にて！

## CONTENTS

- p2 理事長・町長あいさつ / お客様の声
- p3 定時総会・会員互助会総会
- p4 互助会長あいさつ / 会員の声
- p5 互助会活動報告

- p6 シルバー事務所移転報告
- p7 センターからのご案内 / 利用料金
- p8 会員募集 / 事務所からのお願い / 編集後記

## 活動拠点(事務所)の充実に向けて



理事長  
石塚 俊

日頃から会員および役員の方々に、当シルバー人材センターをご利用の皆さま方には、事業運営の推進に対しご支援・ご理解を賜り厚く御礼申し上げます。

昨年十二月二十七日に、庄内町役場および庄内町社会福祉協議会に門松を贈呈しました。その様子がNHKで全国放送され、また、庄内日報でも十二月二十九日の記事に取り上げられ、庄内町シルバー人材センターのPRの一助になったのではないかと思います。

さて、シルバー人材センターを取り巻く環境は大きく変化しており、変化に対応していくことが求められる転換期を迎えております。

一方、現在使用してい

る事務所については、経年劣化による雨漏れなどが発生していることや活動拠点としての充実を図るため、庄内町と協議を進めながら町所有施設への事務所移転についての説明会を三月五日と七日の両日開催し、多くの会員の皆さんから参加していただきました。

意見をいただいた問題点を整理しながら実現に向けて進めていくことにしておりますので、ご理解とご協力をお願いいたします。

結びに、会員の皆さんは、多種多様な豊富な経験と知識・技能を有しております。体調管理と安全適正就業の徹底に努めていただくようお願い申し上げます。ご挨拶いたします。

## 支え合いの地域づくり



庄内町長  
富樫 透

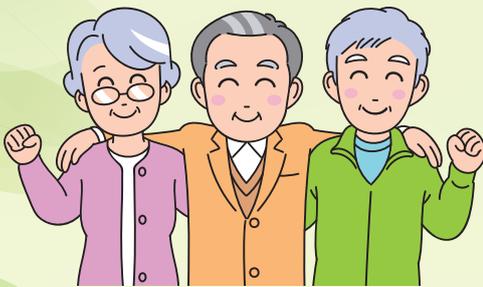
日頃より、庄内町シルバー人材センターの会員の皆さまには、地域のさまざまな分野においてご協力をいただき、心より感謝申し上げます。

少子高齢化が進む中、健康で意欲ある皆さまが、これまで培ってこられた豊かな経験や知識を活かし、地域の一員として活発にご活躍されていることは、町にとって大きな力となっております。生涯現役社会の実現を体現するものであります。

シルバー人材センターの果たす役割は、単なる就業機会の提供にとどまらず、高齢者の皆さまが社会とのつながりを保ちながら、生きがいを持つて活動できる環境づくりにも大きく貢献してまいります。こうした活動は、地域

の担い手不足を補い、誰もが安心して暮らせる「支え合いの地域づくり」にとつてますます重要な存在です。

町といたしましても、皆さまの取り組みを引き続き応援・支援し地域共生社会の実現に向けて力を合わせてまいります。今後ともご理解とご協力をよろしくお願いいたします。



## お客様の声



### 株式会社マルハチ

総務部 課長

菅原 正子

弊社は大正三年に創業し、今年で百十一年を迎えます。日々、地元農家さんが丹精込めて育てた美味しい野菜を浅漬けにして全国へお届けしています。日頃より会員の皆さまには、原料の前処理工程や段ボールの組立などの作業をしていただいております。皆さまの明るく元気な挨拶や、テキパキと無駄のないベテランならではの仕事ぶりで弊社の目指す「高品質なものづくり」と職場の活性化に大いに貢献していただき、いつも大変感謝しております。皆さまの今後益々のご健勝とご活躍をお祈り申し上げます。

# 庄内町シルバー人材センター 定時総会／会員互助会総会

## 新たな飛躍の年に

**会員との合意形成で  
事務所移転**  
積極的な就労機会の開拓も

田澤伸一県議会議長、山形県シルバー人材センター連合会長およびNRI社情報システム株式会社様より、祝電やメッセージをいただきました。

総会では、議長に上林清一氏（大真木）を選出後、議事に入り令和六年度収支補正予算・同事業報告（会員数の推移・八ページ参照）、令和七年度事業計画・同収支予算に加え、センターの事務所移転の五件が報告されました。さらに、議案として令和六年度決算書類について承認をいただいています。

第十三回定時総会が、六月十二日庄内町余目第二まちづくりセンターで、実出席四十七名、委任状一三二名で開催されました。石塚俊理事長の挨拶の後、来賓を代表し庄内町および石川保町議会議長より祝辞をいただき、今後シルバー人材センターへの期待の言葉を述べていただきました。さらに、



議長祝辞に耳を傾ける役員と会員の皆さん

令和七年度事業計画の重点事項では、会員の拡大のための対応として「会報シルバー庄内の全戸配布」を、組織運営基盤の確立として「インボイス制度の導入並びにフリーランス新法に対応した契約方法の見直し」を掲げています。さらには、現事務所の老朽化に係る移転問題については「事務所移転の課題調整と推進」として、会員との合意形成に加え、移転に伴う課題や諸問題に対し可能な限り対策案を示すこととしています。

なお、センターでは、働く意欲のある高齢者の就業の受け皿として、より積極的な就労機会の開拓と提供を図ることとしており、関係機関との緊密な

連携を図りながら、生涯現役社会の実現と地域活性化を目指し、会員および役員が一丸となって推進することとしています。今回、本総会においては報告事案五項目に、令和六年度決算書類の承認が上程され、原案通り決議されました。

**湯治会など親睦深める  
事業多彩**  
互助会総会も同日開催

定時総会終了後、第二十回会員互助会の総会が開催されました。

議長には引き続き上林清一氏を選出し議事に入りました。提案された五議案は、①令和六年度事業報告書 ②令和六年度収支決算書 ③令和七年度事業計画書 ④令和七年度収支予算書に加え、⑤運営委員の選出で、全議案とも賛成多数で原案の通り可決されました。

特に令和七年度の事業計画では、毎年好評をいただいている「シルバー会員お楽しみ湯治会」とともに、新たに「会員の知識やスキルなどの向上と交流拡大の取り組み」を会員の福利厚生事業に掲げ、会員相互の親睦を図ることとしています。



来賓の方々も一緒に「シルバー会員の誓い」斉唱



総会終了し懇親会で声高らかに「カンパイ！」

# 会員の声

## 私の一言



門脇 すすみ  
(沢新田)

私がシルバー会員になつて早いもので十年になります。

き、人に対して特に高齢者に対して優しくなれたように思います。

今、老人ホームで働いていますが、職員の方やパートの方、利用者の方など、また若い人、中年の人、同年代の人、高齢の人など、様々な人たちに出会い、ふれ合い接したりできることにより、挨拶や「ありがとうございます」の感謝の言葉など以前より増して身につ

き、人に対して特に高齢者に対して優しくなれたように思います。そして、自分の生活の仕方など考えさせられることがたくさんありますし、いろいろな経験を通じて人生を豊かにしてくれます。

こうして働けることに感謝し、この時を、一日一日を大切に過ごしていきたいと思う今日この頃です。

## 生活のモットー



阿部 隆  
(沢新田)

会員の皆さま、お元気

日この頃です。

でお過ごしですか。私も

私の生活のモットー

入会して三年ほど経ちました。日々この年齢で仕事ができることに感謝し

は、好きなことをする、前向きにポジティブに考え、くよくよ考えすぎな

## 互助会長あいさつ



佐藤 義一  
(東興野)

桜満開から新緑の爽やかな季節を迎えました。

昨年度の事業においても「楽しかった」「またやろう」などお声をいただき、会員互助会に寄せる皆さまの温かい思いに、心から感謝申し上げます。一層のお力添えをお願い申し上げます。さて、社会は米不足・物価高

騰・医療費の増額・交通や人口の地域格差など身近な問題が多くなり、気弱になったり、人との繋がりも希薄になりがちです。庄内町シルバー人材センターおよび会員互助会は、縁の下力持ちとして、その知識と技で社会に貢献し、人との繋がりを楽しみながら活動するところに意義があると考えます。

今年度も「人と集う・話す・つながる」そして「無理をしな

私は「シルバーカラオケを楽しむ会」に所属しています。歌は、認知症予防にもなるとか。庄内町複合拠点施設にカラオケボックスもできたことですし、ドジャース・大谷翔平選手にはおよびませ

ねてお願い申し上げます。事業にご参加くださいますようお願い申し上げます。

## 互助会活動報告



▼発声は「声高らかに!」



▲親睦前の研修は真剣そのもの!



◀親睦会は差しつ差されつ笑顔満開!

ております。六十歳ごろまでソフトボールをやっている、体力には自信を持っていました。が、体力の貯金は、あまり運動をしないで漫然と過ごしている、と、あつと言っている底をつきます。最近では、体力的に思うように動けなくなり、けがなどには十分注意している今

## 貴重な体験を糧に



小野 妙子  
(和光町)

皆さま、お元気ですか。草取り、田植え、剪定など、皆さま方には、忙しい毎日がやってきましたね。私も互助会の役を終えて、早二年目に入りました。もともと、お節介やきの私です。湯治会の時期が近づいてくると、気持ちが悪くなる、今年はどこへ行くのだろうか、何をやるのかな、皆さんの方が参加してくれるのかなと、小学校の遠足に行くような気持ちでドキドキしながら、参加させていただきました。無こと終えたことに

いことですが、言うは易く、行は難しいのが現状です。これからも、ますます高齢者社会になり、健康寿命も伸びていきます。生涯現役の考えで、健康に留意しながら無理をしないで力を抜き、趣味、仕事などに楽しみながら生活をしていきたいと思えます。

対して、安堵の気持ちにさせていただきありがとうございます。お疲れ様でしたと、役員の方々に礼を申し上げます。今では、皆さんの会の方々がこの一年一回の湯治会を何より楽しみにしている、と聞き、しみだという声を聞き、私自身もそうです。年々身体も衰え、家族や自分にも予期せぬことが起こります。元気でいられる今を大切に皆さんの思い出を皆さまとともに作っていきたいと思えます。同じ一日なら楽しんで生きていきたいと思います。

## 一日研修に参加して



渡部 敬子  
(猿田町)

猿田町に引越してから、家に黙っていても呆けるといけないからと言われ、シルバーに入会して早いもので二年になりました。

今回の一日研修では、米沢市の上杉神社でガイドの方に案内をしていただいたり、高畠ワイナリーでおいしいワインを試飲したり、今まで行つたことのない場所でも多くの体験をしました。さまざまな文化や歴史に触れ、とても豊かな時間を過ごすことができ、嬉しく思います。

今回の研修での楽しい思い出とともに、これからは健康に過ごしていけるよう頑張ります。

## 「お楽しみ湯治会」に参加して



鈴木 龍一  
(貢地目)

恒例の湯治会、十一月十六日から赤倉温泉わらべ唄の宿「湯の原」で行われ参加させていただきました。シルバーに仲間入りし、会ったことはあるが名前がわからない会員や、初めて会う会員との話が楽しみなのですが、残念ながらほぼ同じ顔ぶれで参加人数がちよつと少ない気がしました。今年には職員を合わせ三十二人でした。

次回の湯治会では多くの会員が参加し、今年以上に盛り上がることを願い、私的には、健康に留意し元気で参加できるように頑張ろうと思っております。

計画された互助会役員の皆さま、ありがとうございました。

## 湯治会に参加して



小林 昭  
(御殿町)

シルバー会員になり二年目、今回が初めての参加。参加者は三十二名。ほとんどの皆さんとは面識もない状況の中、名簿を見ながら、お顔と名前を覚えようと思いました。

私としても、赤倉温泉は初めての温泉でした。この湯治会は多くの皆さんと交流できることを望んでの参加。わらべ唄の宿「湯の原」は、落ち着いた場所、あたたまる温泉で体は温まり、お楽しみの宴会、豪華な料理を味わい、お酒は進み、会員同士の話がはずみ、舞台では多くのものご自身がカラオケで時間を忘れるくらい盛り上がりました。

これからは湯治会には、多くの皆さんから参加していただき、楽しい交流の場にできたらと思います。



## 時代の変化に合わせた 事務所移転へ

シルバー人材センターの事務所は、現在、手狭で雨漏りも発生する状況の中、これまで町側への要望を続ける中で、狩川地区にある「旧コミセン」を新たな事務所にする方向で進んでいます。

シルバー人材センターは、高齢者労働力の活用を図り、業務にあたる会員の「生きがいづくり」をはじめ、自己実現と地域経済の活性化に寄与してきました。人口減少社会の中で、豊富な知識と経験を活かした「地域社会の担い手」として、一層の活躍が期待されています。

このため、その活動拠点となる事務所には、業務に関する意見交換の場とともに、会員相互の交流を促しながら、地域共生社会における高齢者の存在意義を高め、社会の一翼を担うための重要な役割が求められています。

当初は両地区二か所に設置されていた当センターは、令和三年に一か所に集約されました。その後、移転について協議が行われてきましたが、町側との協議では、余目地区に新たな事務所を設置する場所がないとの結論にいたり、町が所有する諸施設の中から、狩川地区の町有施設への移転が話し合われてきました。

当センターとしては、これまでの経過を踏まえ、狩川まちづくりセンター（旧コミセン）への移転を通して、会員相互交流の場（飲食可能なスペース、共同作業が可能なスペース、資機材倉庫、そ

の他）を新規に創設するとともに、維持経費も十分考慮し、また、事務所移転に伴う会員への負担を増やさない仕組みづくりを行うとしています。なお、町に対しては「指定管理者」として業務を行いたい旨の希望を打診しています。

この方向については、三月に二回の会員説明会を実施し、会員および利用者のメリットやデメリットを十分考慮する方向としています。説明会でのアンケートでは、賛成二七・二％、課題解決を行う事で賛成が一九・八％となり、反対一六・〇％を上回りました。こうした流れの中で、最終的には四月の理事会での議決決定を受け、六月の定時総会で正式に報告されました。今後、庄内町および「風来風流の会」などとも交渉を続け、令和九年四月からの移転を目指します。



旧コミセン 全景(正面より)



旧コミセン 事務室内部

# 庄内町シルバー人材センターからのご案内

こんな仕事をしています。ご用の方は、お気軽にご連絡やお問い合わせをお寄せください。



草取り



剪定



襖・障子張り



お掃除



送迎



介護助手



広報配布



草刈払い



消毒(樹木)



農作業



筆耕



墓の掃除

etc

## ● 仕事をお請けするにあたって

次に記載する単価(利用料金)は、1時間に換算した金額(参考金額)で、事務手数料および消費税(標準税率10%)を含みます。なお、作業準備や作業効率などのため、実際の作業時間が1時間未満であった場合でも「1時間の利用料金」が適用されます。

繁忙期においては、お請けできない場合、また作業に伺うまでに相当な日数をいただく場合があります。作業時期や作業内容などによっては、多少の変動が発生する場合がございますので、利用料金などの確認を含め一度ご相談ください。また、春から秋の屋外作業については、熱中症予防対策としてこまめな水分補給や休息时间をご配慮いただきますようお願いいたします。

## ● 利用料金(消費税を含む)

令和7年4月1日現在

	作業内容	料金	備考	
主な屋外作業	機械除草(草刈り)	1,800円/h	刈払い機使用	
	手取り除草	1,260円/h	除草、花壇づくり	
	手取り除草	1,340円/h	大豆、ネギ/作物に係る除草	
	集草・積込	1,210円/h	落ち葉集草、処分場持込	
	除草処分・片付け	剪定(松、ヒバ)	1,810円/h	高さが一定以上(3m以上)ある場合は、お受けできませんので一度ご相談ください
		剪定(松、ヒバ以外)	1,570円/h	
		伐採	1,570円/h	木の太さ、本数によりチェーンソーの替刃料金が加算されることがあります
		枝払い	1,340円/h	〃
	ハチの巣撤去	1,560円/h	薬剤代別途料金@1,600/回	
	雪囲い設置・撤去	1,510円/h	縄使用時は別途料金が加算されます	
除雪・排雪	1,550円/h	除雪機使用時@430/回		
墓掃除	1,090円/h~			
主な屋内作業	会場後片付け	1,090円/h~	ゴミ袋使用などにより別途料金が加算されます	
	家具の移動など	1,210円/h	引越しの手伝いなど	
	筆耕	賞状	4,720円/枚	長文、文字数により金額が加算される場合があります
		同宛名(名入)書	315円/枚	氏名のみ
		のし袋	315円/枚	
弔辞		3,456円/枚		
障子・襖の張替などについては、別途お問い合わせ願います				

# 会員を募集しています!

あなたの豊富な「経験」「知識」「技能」をシルバー人材センターで活かしてみませんか!

センターでは就業を援助するとともに、就業をとおして健康増進と生きがいの充実、さらには社会参加の推進を図り活力ある地域社会づくりへの貢献を目的としています。

ご確認ください! 入会の条件などについては次のとおりです。

- 庄内町にお住まいの概ね60歳以上の方で、健康で働く意欲があり、センターの趣旨に賛同していただける方であれば、どなたでも入会できます。
- センター会員には、会員の親睦を深めるための互助会があり、1日研修旅行やお楽しみ湯治会などの各種事業の開催に加え、カラオケ、風の会などの趣味の会があり、皆さんが楽しんでいます。
- 入会の際は、会費として「入会金(初年度のみ)1,000円」「年会費1,500円」「互助会費1,000円」を負担いただきます。ご相談ください。
- 会員の方で体力の衰えや家庭の事情により、一般会員のように仕事は出来ない方が、会に所属して互助会の活動に参加するために「ゴールド会員制度」をご用意してあります。なお、ゴールド会員は「年会費500円」「互助会費500円」となっておりますので、ぜひご利用ください。
- 本会では、入会、勧誘活動を実施しております。お知り合いの方などに入会希望者や検討中の方がおりましたら、ぜひご紹介ください。

お気軽に  
ご相談  
ください

庄内町シルバー人材センターへの「入会のお問い合わせ」や「仕事のお申し込み」  
〒999-7781 庄内町余目字大塚1-2 電話・FAX:0234(42)3122

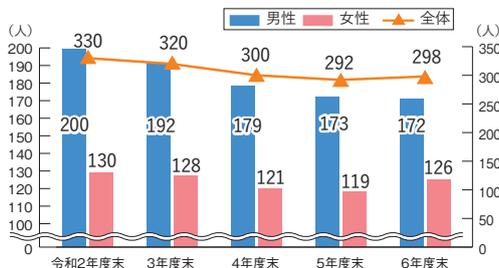
心からご冥福を  
お祈り申し上げます

お悔やみ申し上げます

菊池 忠雄さん(廿六木)  
芝田 祥司さん(御殿町)  
佐藤 義春さん(下堀野)  
小林 勝雄さん(興野)  
工藤 正一さん(西興野)

## 会員数の推移

令和6年度より、コロナ禍以降は減少傾向にあった会員数も増加に転じています。特徴的な傾向として、これまで男性会員と比較し少なかった女性会員の増加が、会員数の増加に繋がっています。



区分	2年度末	3年度末	4年度末	5年度末	6年度末
男性	200	192	179	173	172
女性	130	128	121	119	126
計	330	320	300	292	298

## 編集後記

今回の会報は、懸案でありました全戸配布をすることとしました。「人生百歳時代」。シルバー世代の豊富な経験を活かし、一緒に活動しませんか。身体と頭を使うと、健康寿命も延びますよ。今回も記事を寄せていただいた会員の皆さんに感謝申し上げます。今後も多くの会員の声を紙面に載せたいと思います。

事務局 近藤由里  
同 小林裕之  
同 佐藤利美  
同 池田悠美  
同 鈴木幸雄  
同 奥山賢一  
同 齋藤はる  
同 副広報委員長 齋藤はる  
同 広報委員長 足達健一

## 事務所からのお願い

会員の皆さま、就労ご苦労様です。  
「作業日報の提出」  
就業報告書(作業日誌)の提出は、作業が終わりましたら、早急に事務所に提出ください(事務所入口のポストに投函いただいても結構です)。作業先のお宅や会社の担当者さまから「確認印」または「サイン」を必ずいただってください。  
庄内町シルバー人材センター